

平成30年度 大分市立明野西小学校 学力向上プラン

I 学力調査の結果

<p>教科について</p> <p>大分県学力定着状況調査より（5年）</p> <p>< 国語 ></p> <p>○全体及び全領域・全観点・全問題内容で目標値を上回っている。</p> <p>○小問別正答率では、28項目中4項目で目標値を下回っている。</p> <p>その項目は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「司会の役割として、参加者の発言の共通点をまとめができる（記述・活用）-0.4」 ・「4学年配当漢字を書くができる（短答・知識）-4.8 -9.4」 ・「求められている情報を取り出し、適切な言葉で表現することができる。（記述・活用）-1.5」 <p>< 算数 ></p> <p>○全体及び全領域・全観点で目標値、県の正答率を上回っている。</p> <p>○問題内容では、「面積」が目標値を下回っている。</p> <p>○小問別正答率では、35項目中6項目で目標値を下回っている。</p> <p>その項目は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四則や（ ）の混じった式の計算順序を理解している（選択・知識）-0.3」 ・「長方形の面積を求め、単位換算をすることができる（選択・知識）-4.2」 ・「直方体のある面と平行な辺が分かる（選択・知識）-1.4」 ・「折れ線グラフから変わり方を読み取ができる（選択・知識）-7.5」 ・「面積を2等分するには直線をどれだけずらせばよいのかを説明することができる。（記述・活用）-18.2」 ・「四捨五入する位によって、概数で表した値が異なることを説明することができる。（記述・活用）-0.3」 <p>< 理科 ></p> <p>○全体及び全領域、全観点で目標値を上回っている。</p> <p>○問題内容では、「1年間の動物のようす」「水のすがた」「自然の中の水」が目標値より下回っている。</p> <p>○小問別正答率では、31項目中7項目で目標値を下回っている。</p> <p>その項目は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ナホントウの成虫の越冬についてわかる（選択・知識）-2.2」 ・「温度による空気、水、金属の体積の変化量について理解している。（選択・知識）-11.4」 ・「沸騰についてわかる。（短答・知識）-9.2」 ・「水を熱したときの温度変化のグラフがわかる（選択・知識）-2.8」 ・「あたためられた空気の動き方を理解している（選択・知識）-9.2」 ・「あたためられた水の動きから、水槽のヒーターを取り付ける適切な位置を考えができる（選択・知識）-4.2」 ・「空気中の水蒸気を取り出している方法を推測することができる（短答・活用）-18.9」 	<p>生活面について</p> <p>大分県学力定着状況調査（児童質問紙の結果）より（5年）</p> <p>【肯定率が高い項目】</p> <p>○家の人は、あなたが努力して頑張ったとき、ほめて、認めてくれる。（94.4%）</p> <p>○家はあなたにとって、心のやすらぐ場所だと思う。（95.8%）</p> <p>○がんばったとき、友だちからほめてももらったことがある。（91.7%）</p> <p>○自分なりに頑張ったことを、先生が認めてくれて嬉しかったことがある（90.3%）</p> <p>○自分なりに努力したことがうまくいって嬉しかったことがある。（97.2%）</p> <p>○勉強やスポーツ、習い事、趣味などで今頑張っていることがある。（95.8%）</p> <p>○公共の場所や乗り物の中では、人に迷惑をかけないように気をつけている。（100%）</p> <p>○友だちが成功したときは一緒に喜び、失敗したときは一緒にくや上がる、その思いを言葉やからだで伝える方である。（90.3%）</p> <p>○朝食は毎日食べている。（95.8%）</p> <p>【県との比較】</p> <p>▲意見を発表したり、先生の質問に答えたりしている。（-7.8%）</p> <p>▲学校の規則やクラスで話し合って決めたことを守る（-1.6%）</p> <p>▲クラスの多くの人や仲のいい友だちと意見が違っても自分が正しいと思ったことは主張できる。（-7.3%）</p> <p>▲クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかつたとき、みんなが納得できる方法を考えて提案する。（-4.7%）</p> <p>▲朝は自分で起きている。（-2%）</p> <p style="text-align: right;">以上のことより</p> <p>※考えを持ち、交流する授業について研修を深め、授業改善を行う。</p> <p>※家庭学習を見直し、よりよい学習習慣を指導する。</p> <p>※家庭と連携し、基本的生活習慣の確立された子どもの育成を行う。 ・進んでいきたいことができる、朝自分で起きることができる</p> <p>※QUの結果を参考にしながら、受容的な雰囲気の学級集団づくりをさらに進めること。</p> <p>※受容的、積極的な人とのかかわり方を、体験を通して学び、実践できる力を身につけさせる。</p> <p>※自分のいいところ、友だちのいいところを見つけさせ自信を持たせることに取り組む。</p>
---	--

II 指導改善のポイント

<p>○学習したことが、友だちとの学び合いの中で、活用できる実践力につながるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を確実にする。 ・人の考えを聞く力、自分の考えをもち表現する力をつける。 ・子どもの実態に合った指導法の工夫・改善を図る。 ・読書活動の推進を図る。 	<p>○子どもが自分の生活を見直し、豊かな心と健やかな体を育む取り組みを全校で推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員と児童、及び児童相互の好ましい人間関係のもと生徒指導の充実を図るとともに、いじめ等の早期発見に努める。 ・特別活動、道徳の時間を活用し心の教育を継続して取り組む。 ・食育の指導を通して、よりよい生活習慣づくりを図る。 ・体育の月目標をつくり、体力向上推進を図る。
---	---

III めざす児童生徒像

○個性と創造性に富み、心身ともにたくましい子ども

④：明るい子ども・・・認め合い、支え合い、互いを高め合う子ども（徳）

⑤：元気な子ども・・・健康に関心をもち、進んで心身を鍛える子ども（体）

⑥：伸びる子ども・・・めあてをもって、積極的・創造的に取り組む子ども（知）

IV具体的な取り組み

○表現力育成のため、フリートークの時間を活用し、ペアトークやグループトーク等の話し合い活動を多く仕組む。

○ホワイトボードを活用するなど、自分の考えを表現できる手立てを工夫する。

○一時間完結の授業、板書の構造化、板書とノートの一体化を取り組む中で、授業のユニバーサルデザイン化（視覚化、焦点化、共有化）、学習規律（話し方・聞き方）の徹底を図る。

○チャレンジタイム等を利用し、小テスト、ドリル等の繰り返し学習をおこない、基礎・基本の定着を図る。

○フォローアップワークシートや「〇年の仕上げ」の活用や、活用力育成の問題に取り組む中で、思考力を身につける。

○ICTを活用したり、学習内容を身近な生活に結びつけたりする活動を意図的に仕組む。

○学年発達段階や個に応じた読書指導の充実に努めるとともに、引き続き図書館の環境整備を行う。

○小中連携教育を推進し、互見授業等で授業力向上を図る。

○家庭学習の量と質を吟味し充実を図る。
・「家庭学習の手引き」を全家庭に配布し、家庭と連携して学習習慣の確立を図る。

○1学期4年生以上の学年で実施した hyper-QU検査の結果から多面的に児童を理解し、個別支援の必要な児童への適切な指導を行う。

○食育を通して学んだ基本的生活習慣の定着について、家庭の理解と連携を図る。

○機会ある毎に「ひ・ま・わ・り」の合言葉について話をし、みんなが過ごしやすい雰囲気つくりに努める。

○全校で「あいさつ、無言移動、無言掃除、はきものそろえ」に継続して取り組む。

○全校朝会等で生活目標の振り返りをし、意識付けをはかる。

○道徳の時間等において、相手を意識した行動をとることを中心とした学習を通して、実践力のある子どもを育む。

○たて割り班活動、学習サポーター活動の授業で、いろいろな人とかかわる力を育てる。

○家庭との連携及び教育相談の充実を図る。